

令和7年度第2回稲毛区支え合いのまち推進協議会 議事要旨

日 時 令和8年2月27日（金）
13時30分～15時00分
場 所 稲毛保健福祉センター3階 大会議室
出席者 委 員 20名（欠席5名）
事務局 10名
傍聴人 0名

【1】次 第

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 第1部＜協議＞
 - 議題（1）稲毛区支え合いのまち推進協議会副委員長（1名）の選出について
 - 議題（2）令和7年度稲毛区推進計画の進捗状況について
 - 議題（3）次期地域福祉計画における支え合いのまち推進協議会について
- 4 第2部＜交流＞
 - （1）地域活性化支援事業補助金交付団体による発表及び質疑応答
 - ① 地域おこし会水曜カフェ
 - ② 一般社団法人Spice
 - ③ 稲毛東5丁目自治会
 - （2）グループセッション
- 5 その他
- 6 閉会

【2】開 会

- ・ 委員定数25名のうち5名の欠席を確認して開会した。
- ・ 開会にあたり、稲毛区副区長より挨拶が述べられた後、新任委員の紹介が行われた。
- ・ 事務局より会議の公開について説明がなされた。

【3】議事要旨

＜議題（1）稲毛区支え合いのまち推進協議会副委員長（1名）の選出について＞

内藤前副委員長の退任に伴い、出席委員の互選による副委員長の選任が行われた。

眞智委員長が副委員長の選出を諮ったところ、工藤委員より委員長一任の発言があり、委員長より前委員長が所属した民生委員児童委員協議会の草壁委員に副委員長を打診、同委員の受諾、出席委員の承認を受け、草壁委員が副委員長に選任された。

<議題（2）令和7年度稲毛区推進計画の進捗状況について>

千葉市社会福祉協議会稲毛区事務所平木主任主事より、各地区部会へのヒアリングに基づく令和7年度推進計画の進捗状況について、項目別に作成された資料を使って説明が行われた。

質疑応答では、主に中学生を対象とするボランティア養成講座について質問が飛び、また、好意的な意見が多く聞かれた。

<議題（3）次期地域福祉計画における支え合いのまち推進協議会について>

事務局より、次期地域福祉計画における支え合いのまち推進協議会について、資料に基づき説明が行われた。

次期計画が従前の計画と異なる点として、区計画がなくなること、総括表のみの提出となることが述べられた。その上で、現区計画の基本である取組項目を次期計画では「共通的な地域の取組」として掲載することから、事務局作成の取組内容について漏れがないかの確認と現区計画にある取組項目に対する評価について、現総括表と次期総括表（予定）を比較しながら稲毛区としての意見を求められた。

（眞智委員長）

事務局は、2点についてお訊きしたいということです。

（岡山副委員長）

301地区部会は高齢化が進み、担い手不足もあり、計画に沿って行うのが非常に厳しい状況です。行政には、我々が活動しやすいように計画をたてていただきたいと考えております。

（草壁副委員長）

小中台東地区部会所属ですが、まじめに取組項目に取り組んでいます。ただ、評価については言葉にするのは難しく、また、○や△というのも疑問を感じています。新様式も記入が大変と感じております。

（事務局）

計画は地域活動に直結するものではないと思いますが、行政と地域が連携を図り、地域活動を行いやすくするものと考えております。また、行政が把握しづらい地域課題を含めて、地域活動状況の報告はお願いしたいところです。ただ、様式は現時点では案であり、地域の負担になることは避けたいとは考えております。

（小山委員）

小中台西地区部会所属ですが、個票を作成することは負担です。我々は社協に対して事業報告・計画を作成していますので、細かいことを知りたければ、そちらを活用していただければと思います。ただ、評価については、評価の◎や○の基準をどこに置くのが難しいとは思いますが、行政が必要ということで割り切ってしまうとできないことはないとは思いますが、重ねて、個票による報告は苦痛です。

(眞智委員長)

2点についてまとめたいと思います。1点目の事務局作成の取組内容について、行政が作成しているということで漏れはないかと思いますが。

(事務局)

問題はないはずですが、行政主導ではなく地域のご意見を伺うことが大事ですので、皆様にご意見をお伺いした次第です。

(眞智委員長)

では、これについては問題なしということで、皆さん、よろしいですね。

続いて、2点目の評価についてです。

評価は簡単ではないです。基準等があいまいな状況で割り切っていけば、できないことはないと思いますが、それを行う意味があるのかどうか。皆さん、事業を行うにあたり、普段から良かったこと悪かったことを次年度に生かすということは行っています。次期計画では、自己評価を振り返りの形にさせていただき、行政の支援の参考資料にしたいという理解でよろしいですか。

(事務局)

おっしゃる通りです。

(眞智委員長)

では、意見もございましたので、評価はしなくてもよいということでまとめます。

様式への記入の仕方等について後日改めて説明はあるでしょう。行政の方には、負担がないようによく考えていただき、そうすれば、皆さんにもご理解していただけるとと思います。

(事務局)

ありがとうございました。

【4】その他

今回、会議を2部制とし、第1部を「協議」による議事検討、10分間の休憩をはさみ、第2部を「交流」と称して、令和7年度地域活性化支援事業補助金交付3団体による発表及び3グループに分かれてのセッションという形式で行った。

お越しいただいた3団体による精力的な地域活動の発表後、事前アンケートを基に出席委員を3つのグループに分け、車座になって発表者と活発な意見交換を行った。どのグループでも非常に熱心に意見が交わされ、視察の約束等、今後の稲毛区における地域活動の広がりを感じさせるものであった。

予定時間を大幅に延長してのグループセッションとなったが、それでもどのグループも話が尽きない様子であった。

<発表団体・令和7年度地域活性化支援事業補助金交付3団体>

- ① 「水曜カフェ」 (地域おこし会水曜カフェ 代表 鵜飼みどり氏)
- ② 「10代・20代のためのユースセンター設立プロジェクト」 (一般社団法人Spice 代表 郡司日奈乃氏)
- ③ 「防災を通じた誇りに思える我がまち作り」(稲毛東5丁目自治会防災会担当 定方良文氏)

【5】閉 会

事務局より以下について周知がなされた。

- ・次回推進協は7月29日（水）開催、議題は、令和7年度稲毛区推進計画の推進状況と推進協だより案についての報告及び承認を予定している。6月中旬以降、各委員宛に通知する予定である。